

友誼團體代表ノ誌辭

日本労働書紀長

麻生 久石

然るに日清戦争の戦火が、吾々の間に起り、水乙来た事

を、欣ぶものあり、と述べて、心強きに成り、辛き経歴を回顧し

満身瘡痍の吾々加之を、強し、進進し、在り、水乙、所、あり、

特に、深り、關係を有する同盟加、一、僑、奮、励、せ、り、水乙、中、と、希、い、

と、結、ん、む。

全日婦人同盟

菊川 女史

日労党

松岩 晴分 部氏

No. 3

10 の後を、厚く、同、ト、ク

日労党

河上 大六 部氏

協同會労働課